

課題名：注目される県内外のブドウ品種に適した栽培技術の確立（令7～11）

内容：近年、農研機構果樹茶業研究部門や民間育種家などによって新たなブドウ品種が育成され、本県のブドウ生産現場では、これら新品種に対する関心が高まっています。現在、県内で普及が見込まれるブドウ新品種については、系統適応性検定試験あるいは導入品種試験により適応性を検討していますが、いずれも試験規模が小さく、対照品種に準じた栽培管理が行われているため、特性把握に終始し、品種固有の問題点の解決には至りにくい状況です。一方、県内産地への植栽が急速に進んでいる品種に関しては、より迅速な技術対応が望まれています。そこで、県内で注目され、植栽が進んでいるブドウ新品種について、高品質安定生産技術の検討及び確立を目指します。

試験品種名及び実施年度

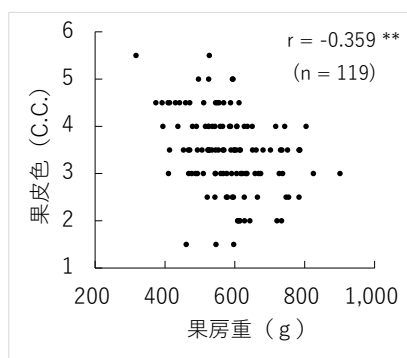
試験品種名	R7	R8	R9	R10	R11
クイーンニーナ	➔				
ナガノパープル	➔				
スカーレット等				➔	



「クイーンニーナ」



「ナガノパープル」



「クイーンニーナ」の果房重と果皮着色との関係

[果樹研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)